



ファームウェア バージョン :	R6.10.B010	
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-52	F1
発行日 :	2018/1/9	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
追加機能 :	9
MIB の変更点 :	9
修正した問題点 :	9
既知の問題 :	9

変更履歴とシステム要件 :

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R6.10.B010	2018/1/9	DGS-1210-52	F1

変更履歴	
2018/1/9	初版リリース
2019/10/31	アップグレード手順にイメージ ID の指定に関する注意書きを追記

アップグレード時の注意事項 :

R6.10.B010 では、シリーズ共通のファームウェアイメージへと統合されたため、R6.10.B010 から古いバージョン (6.00.Bxxx) へのファームウェアダウングレードはサポートしていません。

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

リンクアグリゲーション (LAG)、スパンニングツリー (STP) を使用している場合は、ファームウェアアップグレードの操作中、DGS-1210 の動作が不安定になる可能性があるため、ネットワークから切り離して実施してください。

HTTPS 経由でのファームウェアアップグレードには対応していません。

アップグレード手順 :

ファームウェアアップグレードは、CLI (Telnet 経由)、WebGUI または D-Link Network Assistant から実行することができます。

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア (例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド) を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例 : telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename (64)> image_id <integer 1-2>	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

show boot_file	スイッチの現在のブートイメージ ID 及びブートコンフィグ ID を表示します。
----------------	--

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) 現在のブートイメージIDを確認します。「Bootup Firmware」が現在のブートアップイメージIDとなります。

```
DGS-1210-52> show boot_file
Bootup Firmware : image_1
Bootup Configuration : config_1
```

(2) ファームウェアを本製品にダウンロードします。「image_id」には、(1)で確認した現在のブートアップイメージIDを指定します。

注意：「image_id」に現在のブートアップイメージIDではない方を指定した場合、ファームウェアのダウンロード後、ブートアップのimage_idを手動で指定し、再起動する必要があります。

```
DGS-1210-52> download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS-1210-F1-SERIES-F1-6-10-B010.hex image_id 1
Connecting to server..... Done.
Download firmware..... Done. Do not power off!
Please wait, programming flash..... 8 %
```

※ ファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、スイッチのアップグレードと再起動が行われます。一旦接続が切断されますので、再起動後に Telnet で再接続し、下記手順にてアップグレードが正常に完了していることを確認します。

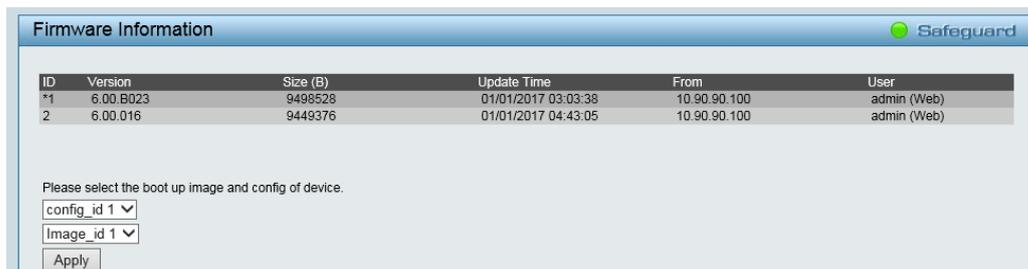
(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-52> show switch
System name :
System Contact :
System Location :
System up time : 0 days, 0 hrs, 2 min, 31 secs
System Time : 01/01/2017 00:02:19
System hardware version : F1
System firmware version : 6.10.B010
System boot version : 1.00.009
System serial number : QBDGS12105200
MAC Address : 9C-D6-43-AA-58-77
```

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

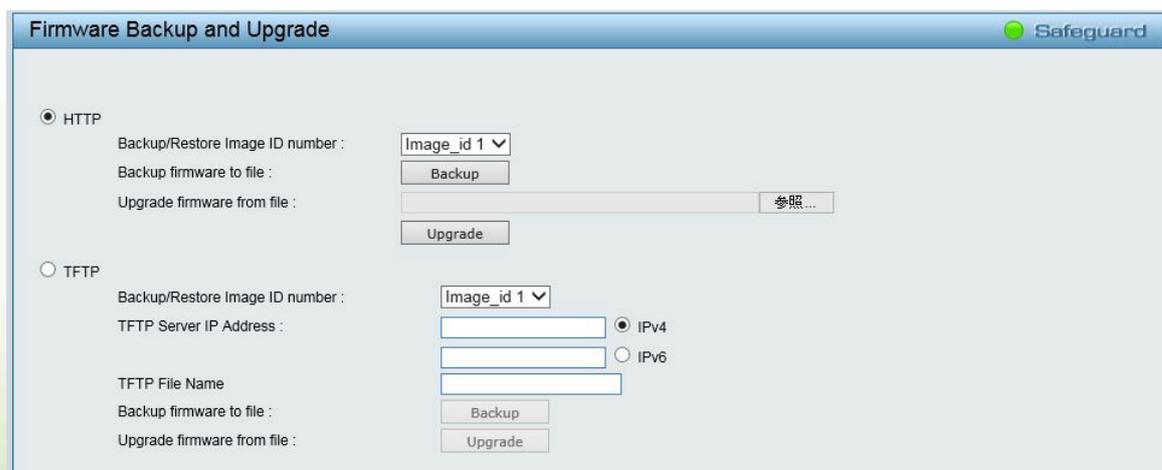
1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード：admin
3. [System]>[Firmware Information]を選択します。
4. 現在のブートイメージ ID を確認します。ID の横に*マークが付いている方が現在のブートイメージです。



5. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



6. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

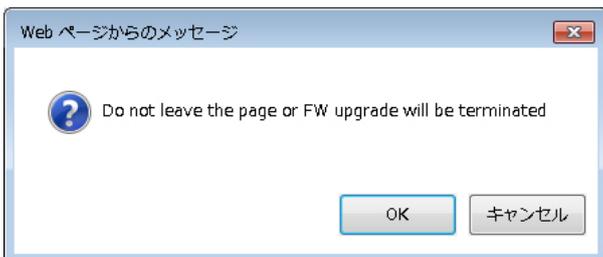
- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [Image ID]には、「Firmware Information」画面で確認した現在のブートアップイメージ ID を選択します。

注意：「image_id」に現在のブートアップイメージ ID ではない方を指定した場合、ファームウェアのダウンロード後、ブートアップの image_id を手動で指定し、再起動する必要があります。

- (3) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (4) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



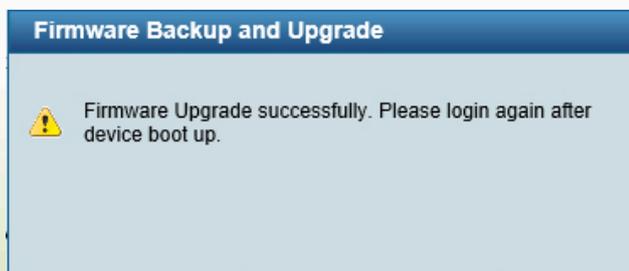
- (5) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (6) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (7) ファームウェアアップグレードが完了すると、再起動が行われます。デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (8) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [Image ID]には、「Firmware Information」画面で確認した現在のブートアップイメージ ID を選択します。

注意：「image_id」に現在のブートアップイメージ ID ではない方を指定した場合、ファームウェアのダウンロード後、ブートアップの image_id を手動で指定し、再起動する必要があります。

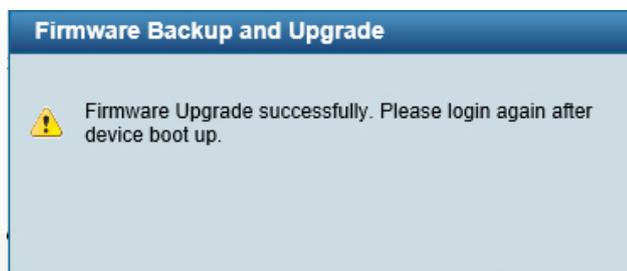
- (3) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (4) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

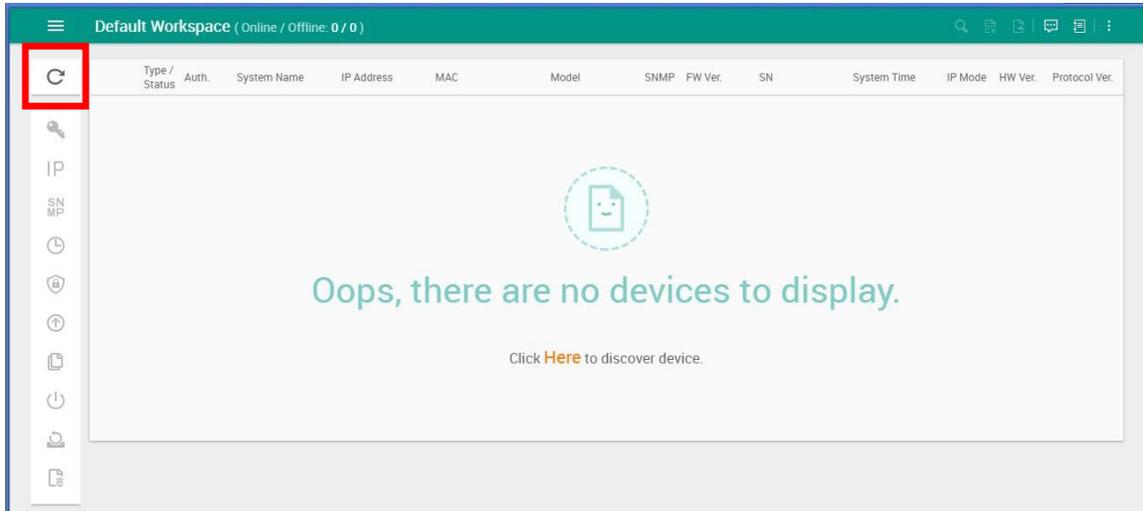
- (6) ファームウェアアップグレードが完了すると、再起動が行われます。デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



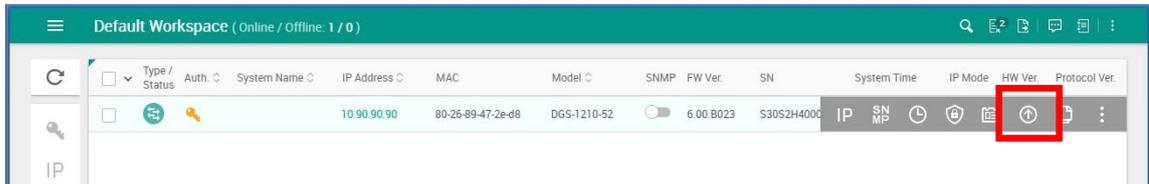
- (7) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

D-Link Network Assistant を使用するアップグレード

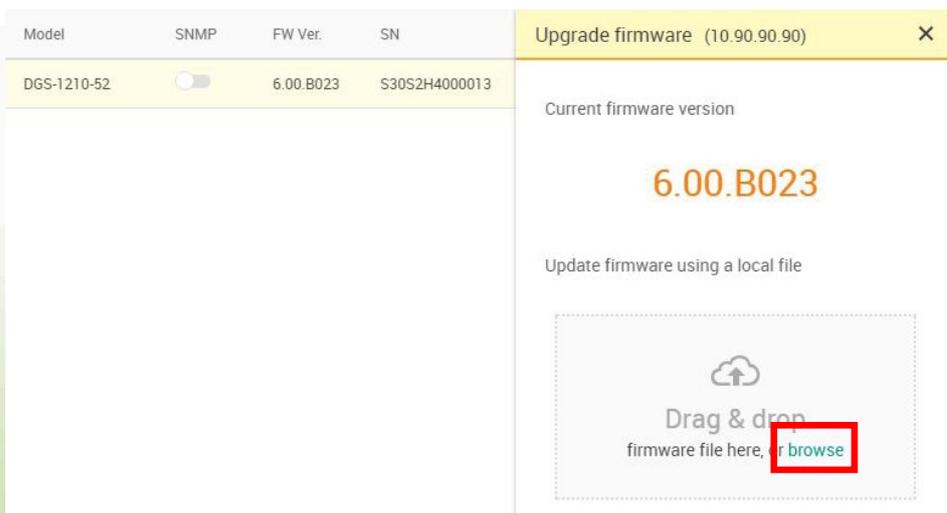
1. D-Link Network Assistant を起動します。
2. [Refresh] アイコンをクリックし、スイッチを検出します。



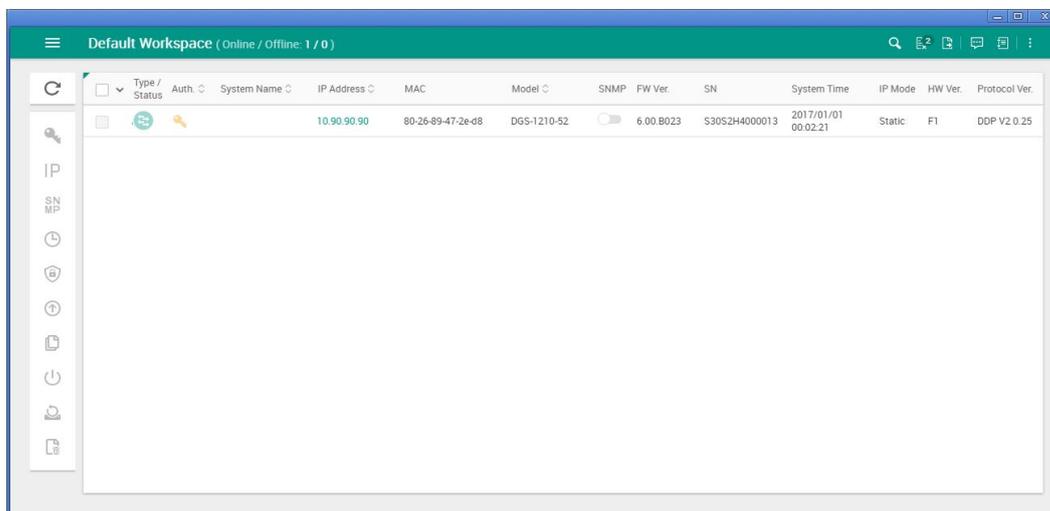
3. アップグレード対象のスイッチにカーソルを合わせ、[Upgrade firmware] アイコンをクリックします。



4. [Browse] をクリックしてファームウェアを選択 → [Upgrade now] をクリックします。
 注意：DNA を使用してアップグレードを行う場合、「Image_id 1」に対してアップグレードが実施されます。現在のブートイメージが「Image_id 2」の場合、ファームウェアのダウンロード後、ブートアップの image_id を手動で指定し、再起動する必要があります。



5. 画面が切り替わり、ファームウェアアップグレードが開始されます。



※アップグレード中は「Type / Status」欄のアイコンが処理中であることを示します。アップグレードが完了すると、画面右下に「Successfully upgraded the device firmware for (10.90.90.90).」というメッセージがポップアップ表示されます。

6. アップグレードが完了するとスイッチが再起動されます。スイッチの再起動後に [Refresh] アイコンをクリックし、デバイス情報の FW バージョンが更新されていることを確認します。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能 :

ファームウェアバージョン	追加機能
R6.10.B010	<ol style="list-style-type: none"> 1. シリーズ共通のイメージファイルに対応致しました。 2. TLS v1.0/v 1.1/v1.2 をサポート致しました。 3. DDP ver0.26 に更新致しました。 4. IPv4/IPv6 の IP Interface Settings 画面で「Edit」機能に対応致しました。 5. Configuration Information 画面を追加致しました。

MIB の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R6.10.B010	特になし

修正した問題点 :

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R6.10.B010	<ol style="list-style-type: none"> 1. SNMP において、64bit カウンタが正常に動作しない問題と、STP に関連する MIB 値が正常に取得できない問題を修正致しました。 2. System Location で特殊文字 (“-”及び“_”) に対応致しました。 3. リンクダウン/アップを実施した後に、スイッチからの ARP/ICMP が送信されなくなる問題を修正致しました。 4. Cable Diagnostic 画面において、検出結果の制限事項に関する注意書きを追記致しました。 5. Web GUI で SNTP サーバを設定後、DNA ツールで反映されない問題を修正致しました。 6. DNA による構成の際、現在のブートアップコンフィグではなく常に Config-1 に対して更新が行われる問題を修正致しました。 7. TCP 排他制御に関する問題を修正致しました。

既知の問題 :

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R6.10.B010	特になし

Copyright 2006-2017 D-Link Japan K.K.